

# 県内経済の動き

## 概況

〔2026年1月～2026年3月の動き〕

### 一部に弱めの動きがみられるも、緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（1月）は3カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（2月 細島港）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（2月 全店ベース）は3カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（3月）は9カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（2月）は5カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（3月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（2月）は前月比▲0.01ポイントの1.14倍で、3月の企業倒産は前月比2件減の3件、負債総額は同42百万円減の3億20百万円となった。

県内経済は緩やかな回復が続いているが、中東情勢は事態の収束が見通せず、県内経済への影響が引き続き懸念される。